



家庭学習の手引き

「自ら学ぶ子」を育てるために、子どもたちが一番安心して生活できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことが重要です。低学年では宿題などをやりきらせるなど、基本的な学習習慣を身につけさせ、高学年では授業の復習や予習、自主的な勉強など自学自習の習慣を身につけさせることを目指しましょう。このように「自ら学ぶ」家庭学習の習慣化が「生きる力」につながっていきます。

この手引きをよく目にする場所に貼っておき、家庭学習の習慣化を進めましょう。



1 家庭学習を習慣化しよう

○学習時間のめやす

1年生 15分 2年生 20分 3年生 30分
4年生 40分 5年生 50分 6年生 60分

○学力をつけるには規則正しい生活から

- ・早寝・早起き・規則正しい食事・朝の排便
- ・テレビ・ゲームは時間を決めて
- ・時間割や学習用具は自分でそろえる

○学習の3つのポイント

- ①テレビを消して
- ②よい姿勢で
- ③机の上をきれいにして



◆全国学力・学習状況調査でも、基本的な学習習慣や生活習慣と学力の間には一定の相関関係があることが分かりました。

2 各学年共通の学習(参考例)

国語：・漢字練習・音読・視写・意味調べ
・日記(3行作文)・言葉の使い方調べ
・漢字テストでまちがった漢字を正しく覚え直す

算数：・計算練習・百ます計算
・テストでまちがった問題をノートに写し解いてみる

社会・理科・総合

・勉強したところに関係があることがらを本やインターネットなどで調べる

◎教育に関する3つの達成目標の取組
(学力・体力・規律)

—各学年で身につけたい力—

1年：基本的な学習習慣

- ①ひらがな・カタカナが読めて書けるようにしましょう。
- ②楽しみながら大きな声で読めるようにしましょう。
- ③80字の漢字の読み書きができるようにしましょう。
- ④て・に・を・はを使い分けて文章が書けるようにしましょう。
- ⑤たし算・ひき算ができるようにしましょう。
- ⑥間違った問題は必ずやり直しましょう。

2年：繰り返しを大切にした学習習慣

- ①句読点(「,」「。」)に気をつけずら読めるようにしましょう。
- ②160字の漢字の読み書きができるようにしましょう。
- ③順序よくお話できるようにしましょう。
- ④九九がすらすら言えるようにしましょう。
- ⑤くり上がり・くり下がりたし算やひき算ができるようにしましょう。
- ⑥生活の中で水のかさが分かるようにしましょう。
- ⑦間違った問題は必ずやり直しましょう。

3年：決めたことを実行の学習習慣

- ①つかえずに、はっきりと音読できるようにしましょう。
- ②200字の漢字の読み書きができるようにしましょう。
- ③ローマ字を読み書きできるようにしましょう。
- ④国語辞典の使い方に慣れましょう。
- ⑤かんたんなわり算ができるようにしましょう。
- ⑥生活の中で重さが分かるようにしましょう。
- ⑦間違った問題は必ずやり直しましょう。

4年：自主的な学習習慣

- ①文章を正確に「読む」ことができるようにしましょう。
- ②200字の漢字の読み書きができるようにしましょう。
- ③国語辞典・漢和辞典を上手に使えるようにしましょう。
- ④わり算の筆算ができるようにしましょう。
- ⑤小数・分数の計算ができるようにしましょう。
- ⑥コンパス・分度器を上手に使えるようにしましょう。
- ⑦地図を使って場所や地名が調べられるようにしましょう。
- ⑧47都道府県の位置が分かり、書けるようにしましょう。
- ⑨間違った問題は必ずやり直しましょう。

5年：計画的・自主的な学習習慣

- ①情景を思い浮かべて感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて音読しましょう。
- ②185字の漢字の読み書きができるようにしましょう。
- ③今まで習った漢字を使った熟語を文の中で書けるようにしましょう。
- ④国語辞典や漢字辞典を積極的に使しましょう。(PCも)
- ⑤小数のかけ算・わり算ができるようにしましょう。
- ⑥分母が異なる分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができるようにしましょう。
- ⑦割合・百分率を使った問題が解けるようにしましょう。
- ⑧世界の主な大陸や海洋、主な国の名称や位置を書けるようにしましょう。
- ⑨よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。

6年：自学自習の学習習慣

- ①情景を思い浮かべて感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて音読しましょう。
- ②小学校で習得すべき漢字の読み書きをできるようにしましょう。
(6年生は181字)
- ③今まで習った漢字を使った熟語を文の中で書けるようにしましょう。
- ④国語・漢字辞典・図鑑類等、積極的に使しましょう。(PCも)
- ⑤分数のたし・ひき・かけ・わり算ができるようにしましょう。
- ⑥計算力向上のため、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。

- ⑦歴史上の事件や人物、文化遺産について説明できるようにしましょう。
- ⑧三権分立など社会用語の説明ができるようにしましょう。
- ⑨世界の主な国の位置を覚えましょう。
- ⑩実験器具の正しい使い方などを覚えておきましょう。
- ⑪一食分の食事(ご飯・みそ汁を含む)が作れるようにしましょう。

◎生活の中で「生きる力」をつけよう

- ①読書は「見えない学力」を高めます。本を読みましょう。
- ②新聞やニュース番組などを見て親子で話し合ってみましょう。
- ③日本地図・世界地図・地球儀など、身近において調べましょう。
- ④自然や生き物とふれあい、くわしく観察してみましょう。
- ⑤アウトメディア(テレビ・ゲーム・携帯電話無しの生活)を心がけましょう。
- ⑥家の仕事を進んでみましょう。

